

タイプフェイスの創作 (デザイナーズフォントの制作)

4番 阿部久架

【制作意図】

文字はフォントを使えば簡単に作ることができるデザインです。にも関わらず、文字（フォント）はプロのデザイナーがもっとも気を遣うともグラフィックの一つともいえます。私はそのフォントの中で、デザイナーズフォントというものに注目し、その制作を通してフォントについて学ぶことを意図としました。

【デザインコンセプト】

右図の様に表を作り、その中で数の少なかつた直線的要素の多いフォントと明暗逆転のフォントを作成。どちらも英語・数字・記号のフォント。直線的要素の多いフォント→六角形をベースとしたもの
明暗逆転のフォント→■をベースとし、直線的なフォント。

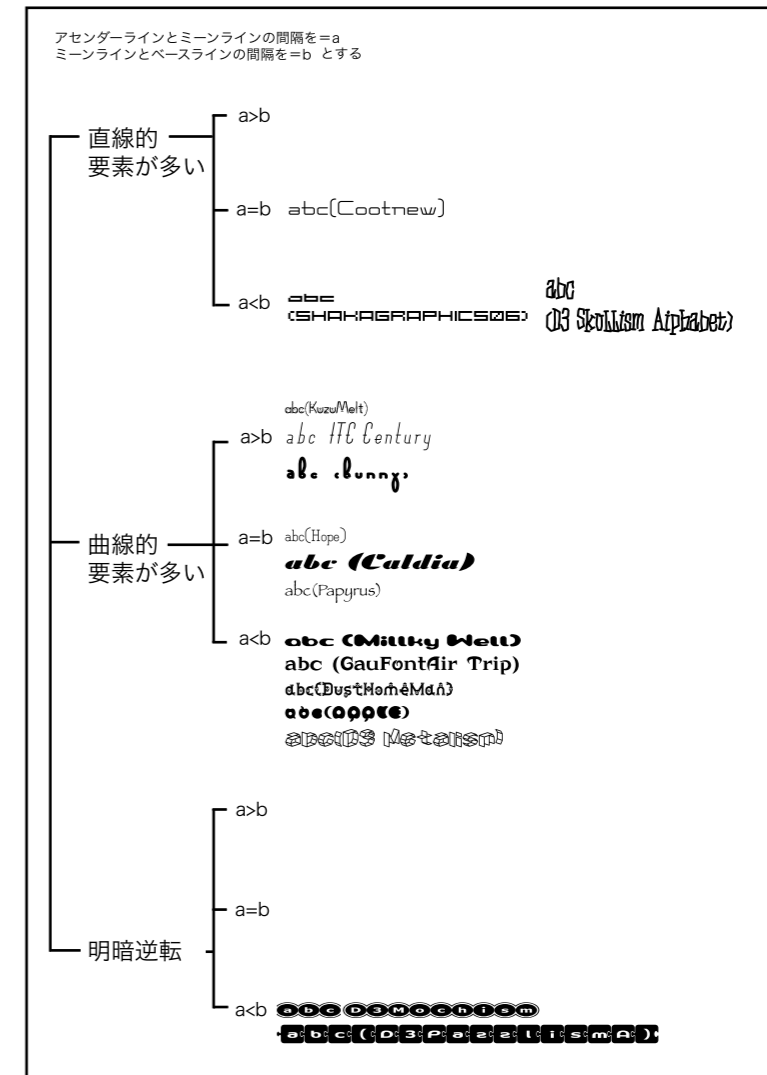
【制作過程】

- 1 制作準備に必要なことを調べる
- 2 フォントの歴史と種類、著作権などフォントについて調べる
- 3 様々なデザイナーズフォントを集め、その造形を調べる
- 4 フォント作成
アイデアを練る→デザインイメージ、ルールを決め試作品を作る→Illustratorでデザイン

【考察】

制作する上で、デザイナーズフォントの歴史的背景を調べ、デザイナーズフォントというのは歴史が浅く、まだ著作権問題等に関して曖昧な点があることも分かりました。普段当たり前のように使っているフォントですが、実際に自分で作ってみると、文字として解読できる程度にバランス良くデザインすることは難しいことが分かりました。

フォントの造形な部分（直線・曲線）・アセンダーラインとミーンラインに注目し、デザイナーズフォントの表を作成



上記の表を元に数の少なかつたフォントを制作。
下記は明暗逆転 (a>b) のフォント

